

心の栄養剤No142-①「天国のママ」

サキちゃんのパパは重い病気と闘っていたが、死期を悟ってパパを枕元に呼んだ。その時、サキちゃんはまだ2歳。

「あなた、サキのためにビデオを3本残します。このビデオの1本目は、サキの3歳の誕生日に。2本目は小学校の入学式に。そして3本目は…〇〇〇の日に見せてあげてください」

まもなく、サキちゃんのパパは天国へと旅立った。そして、サキちゃんの3歳の誕生日。1本目のビデオがかけられた。

(ビデオからつないだテレビ画面に、病室のママが映し出される)

「サキちゃん、お誕生日おめでとう。ママ、うれしいなあ。でもママはね、テレビの中に引っ越したの。だから、こうやってしか会えない。パパの言うことをよく聞いて、おいこうさんでいてね。だったら、ママ、また会いに来ます」

サキちゃんの小学校入学の日。2本目のビデオ。

「サキちゃん、大きくなったネ。おめでとう……。ママ、うれしいな。どんなにこの日を待っていたか。サキちゃん、ちゃんと聞いてね。ママが今住んでいるところは、天国なの。だから、もう会えない。でもね、パパのお手伝いがちゃんとできたら、ママ、もう一回だけ、会いに来ます。じゃあ、魔法をかけるよ。エイッ！ほうら、サキちゃんは料理や洗濯ができるようになりました」

そして3本目のビデオ。そのタイトルは、こう書いてあった。

『新しいママが来た日のサキちゃんに』

そしてサキちゃんが10歳の時、パパは再婚し、新しいママが来た。

3人いっしょに、3本目のビデオを見つめた。なつかしいママの顔が映し出された。

「サキちゃん、おうちの仕事、がんばったね。えらかったね。でも、もう大丈夫。新しいママが来たんだから。……サキちゃん。今日で本当にお別れです。……サキちゃん、今、身長はどれくらい？ママには見えない。

(泣き崩れ、カメラを抱え込む姿が映る)

ママ、もっと生きてい…。あなたのために、おいしいものいっぱいつくってあげたい…。あなたの成長を見つめていたい…。じゃあ、サキちゃん、これがママの最後の魔法です。それは、「ママを忘れる魔法」です。ママを忘れて、パパと、新しいママと、楽しい暮らしをつくってください。では、魔法をかけます。1、2、3、ハイッ！」

そこでビデオは終わった。

しかし、サキちゃんに、この魔法は効かなかった。パパと、新しいママにも効かなかった。ママは、みんなの心の中に、ちゃんと残っていた。

そして今度は、サキちゃんが主役の、4本目のビデオがつくられたのだった。

天国のママに見てもらうために。

心の栄養剤No142-②「父の優しい嘘」

数年前、家族旅行の帰り道、大きな事故に遭遇しました。その事故のせいで私は2本の松葉杖なしには歩けなくなってしまったのです。私よりまじだったものの、父も松葉杖が必要な身体になってしまいました。思春期には劣等感に悩まされ、死にたいと思ったこともありました。そんな時、**いつも父が慰めてくれました。父も同じ痛みを知っているから、私の気持ちをちゃんとわかってくれていたのです。**父の愛に励まされ無事大学にも合格し入学式の日父は私のことを誇りに思うと泣いてくれました。そして、入学式を終えて会場からでてきたとき、目の前で、信じられないことが起きたのです・・・

小さな子がひとりで車道へ飛び出しました。すると、父は松葉杖を投げ捨てて、全力でその子のもとへ駆け出したのです。私は自分の目を疑いました・・・父がその子を抱き抱えてもどってくるではありませんか・・・「お父さん！」私は驚きのあまり大きな声を出しましたが、父は何ごともなかったかのように、松葉杖をついてさっさと歩いていきます。

「お母さんお母さんも見たでしょう？お父さんが走ったのを！」母は淡々と答えました。「驚かないで、聞いてちょうだい。いつかはあなたにもわかってしまうと思っていたわ。お父さんはね、本当は松葉杖がいらぬの、あのとき、お父さんは腕に怪我しただけだったの。それでも4年間、松葉杖を使ってきたのよ。同じ痛みを背負わなければ、あなたを慰めてあげられないと泣いてね」

知らず知らずのうちに涙が溢れてきました。「泣かないで。お父さんはね、あなたを慰めてあげられる自分を誇りに思っていたのよ。さっき、あの子が車にひかれそうになって、あなたと同じ目に遭うんじゃないかと・・・」

前を歩く父の後ろ姿を見ていると涙がこぼれ落ちてきました。つらいときは、いつもお父さんのふところでも泣きました。いつも声をあげて泣いていたのは私だけだけれど、**父は胸の中でもっとたくさんの涙を流していたのかもしれない。**

お父さん、お母さん、ありがとう・・・

5月～母の日、6月～父の日と続きますが、今年は4月に私も実父を見送ったばかりでもあり、なんとなく感慨深く・・・

「親思う心に勝る親心」

「親孝行したい時には親はなし」

「父母の恩は山よりも高く、海よりも深し」

などなど色んな詩が頭の中でぐるぐる回るような日々を送っています。

父に～母に～感謝の気持ちを忘れずに一日一日を大切に生きて行かないといけないなあ～と心よりしみじみ思う今日この頃です！！

